

『大学の組織運営改革と教職員の在り方に関する研究 最終報告書』

正誤表

(2016年10月現在)

○181 ページ (下から3行目)

【誤】 92.8%

【正】 50.0%

○181 ページ (下から1行目)

【誤】 , 「j. 硬直的な教員人事を流動化できる」(50.0%)

【正】 (削除)

○182 ページ (図14-4)

【誤】

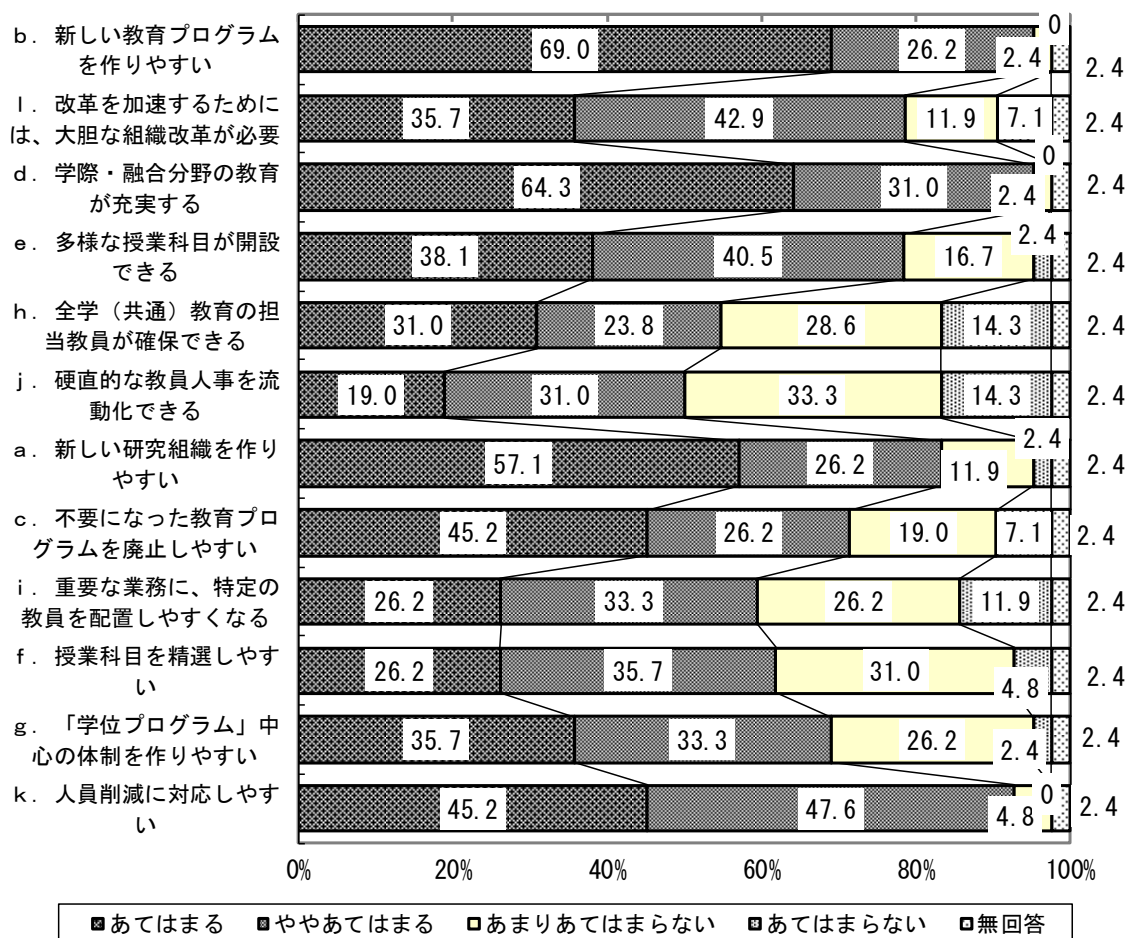


図14-4 「教教分離」型の改組の実施目的(国立のみ)(n=42)

【正】

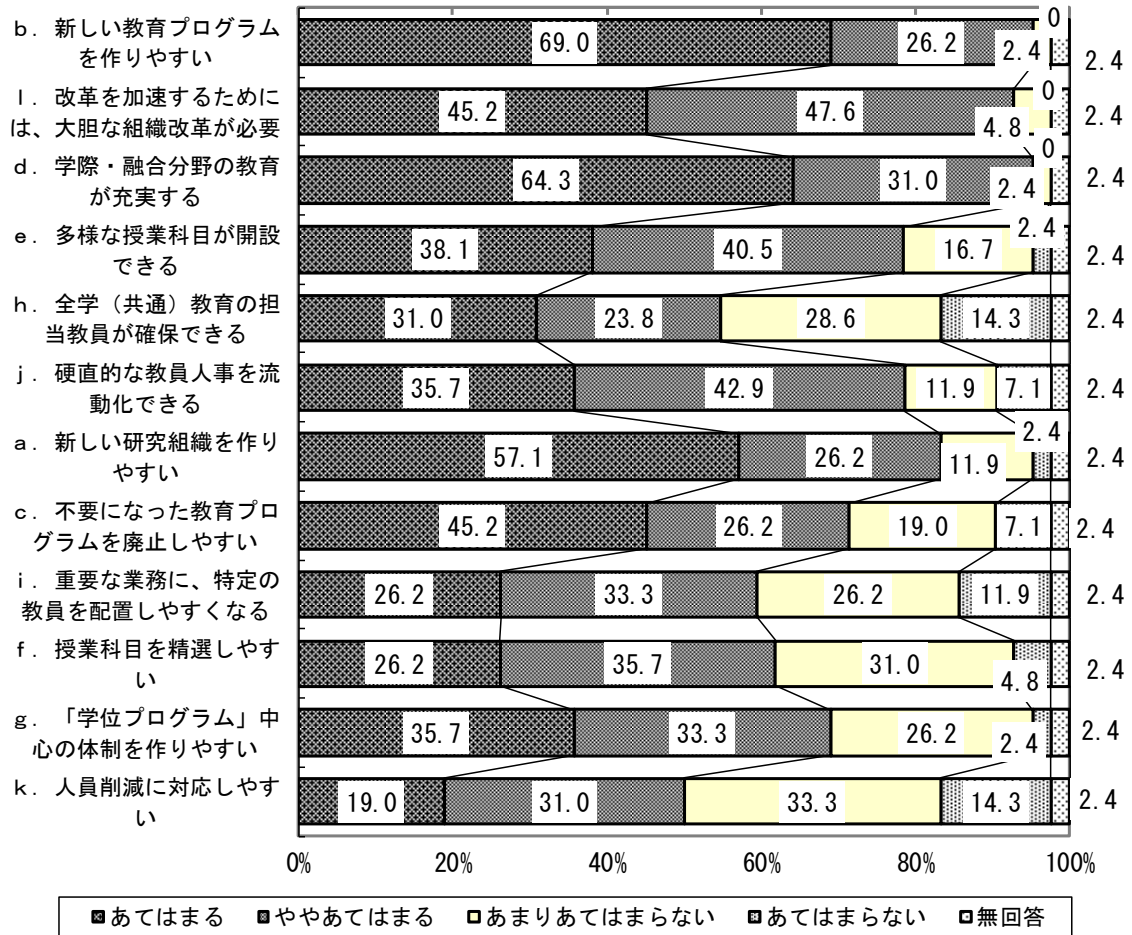


図 14-4 「教教分離」型の改組の実施目的(国立のみ)(n=42)

○185 ページ（下から9行目）

【誤】 ，「硬直的な教員人事を流動化できる」

【正】 （削除）

以上，お詫びして訂正いたします。